

科目	疾患と治療 I 総論、血液・造血器、循環器				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	⑤泉谷美和 ④石原謙 ④松本興治				
実務経験	⑤臨床検査技師(医療機関) ④医師(医療機関)				
ねらい	1. 人体の正常状態についての知識をもとに、病的な状態との比較ができる。 2. 臓器・組織の系統別に、身体内での病的変化と症状、回復促進のための治療を学ぶ。				
目標	1. 5 つの病変カテゴリーに基づいて、疾病の成り立ちを学ぶ。 2. 系統別に代表的な疾患を取り上げ、疾患の理解と治療を学ぶ。				
授業計画					
回	内容				
1～7	1. 総論 病変カテゴリー(先天異常・代謝障害・循環障害・炎症・腫瘍)の理解				
8～11	2. 血液 (1) 骨髄および血液の疾患 (貧血、白血病、突発性血小板減少性紫斑病) (2) リンパ系および脾臓の疾患 (リンパ節の構造と機能、悪性リンパ腫)				
12～15	3. 循環器 (1) 心臓の疾患 (先天性心疾患、心不全、虚血性心疾患、心内膜と心膜の疾患、心臓弁膜症) (2) 血管の疾患 (高血圧症、動脈硬化症、動脈瘤)				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して 100 点満点で評価する。各試験、60 点以上を及第点とする。				
教科書	総論 疾病の成り立ちと回復の促進①病理学: 医学書院 疾病の成り立ちと回復の促進②病態生理学: 医学書院				
	血液 成人看護学(3)循環器、④血液・造血器: 医学書院				
	循環器 成人看護学③循環器: 医学書院 疾病の成り立ちと回復の促進①病理学: 医学書院				